

# 令和7年度 発達障害者相談支援スキルアップ研修 実施報告

社会福祉法人 嬉泉

1

## 研修概要

**目的:** 区市町村における相談支援の質を確保するため、支援現場で中核を担う人材の育成(より実践的な技術の取得(スキルアップ))を図り、相談支援窓口における支援力の強化に資すること

**対象:** 区市町村ならびに発達障害に関わる支援機関において、相談支援業務等の中核を担う職員

**内容:**

【報告済】■相談研修Ⅰ「思春期の発達障害～理解と支援～」

【報告済】■相談研修Ⅱ「乳幼児期の発達障害～理解と支援～」

【報告済】■相談研修Ⅲ「保育所における発達に課題のある子どもへの支援～保育所の実際の取り組みから学ぶ～」

【報告済】■相談研修Ⅳ「発達障害のある子どもの家族への支援」

★■相談研修Ⅴ「強度行動障害における昨今の課題」

【予定】■相談研修Ⅵ「青年期の発達障害～教育から社会へ～」

【報告済】■実技研修Ⅰ「発達障害のある人へのソーシャル・スキルズ・トレーニング ～『SST』という支援方法を知ろう～」

【報告済】■実技研修Ⅱ「発達障害のある人へのアセスメント技術を高める」

★■実践発表 「通所施設における発達障害のある人への支援の実際」

★■体験研修 「通所および入所施設における1日体験研修を通して、発達障害者への理解と支援を学ぶ」

① 「袖ヶ浦ひかりの学園」(入所施設)

② 「おおらか学園」(通所施設)

2

## ■体験研修

## 研修内容

### ■体験研修

「1日体験研修を通して、発達障害者への理解と支援を学ぶ」

- ・コーディネーター:①菅原 良武(袖ヶ浦ひかりの学園 主任)  
②坂下 幸生(おおらか学園 副園長)
- ・日 時:①令和7年10/28・29・30、11/18・19・20、12/10・11・19  
②令和7年10/10・15・24、11/7・12・21、12/5・10・19
- ・場 所:①袖ヶ浦ひかりの学園(入所施設)  
②おおらか学園(通所施設)
- ・参加人数:①12名(定員:18名)  
②9名(定員:18名)

3

## ■相談研修Ⅴ

## 研修内容

### ■相談研修Ⅴ「強度行動障害における昨今の課題」

- ・講 師:竹矢 恒 氏(一般社団法人 あんぷ 代表)
- ・事例提供者:大塚 康子(相談支援事業所えにし 相談支援専門員)
- ・日 時:令和8年1月14日(水)13:00~16:00
- ・場 所:社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所
- ・実施形態:集合形態
- ・参加人数:10名(定員:12名)

4

## ■実践発表

## 研修内容

### ■実践発表「通所施設における支援の実際」

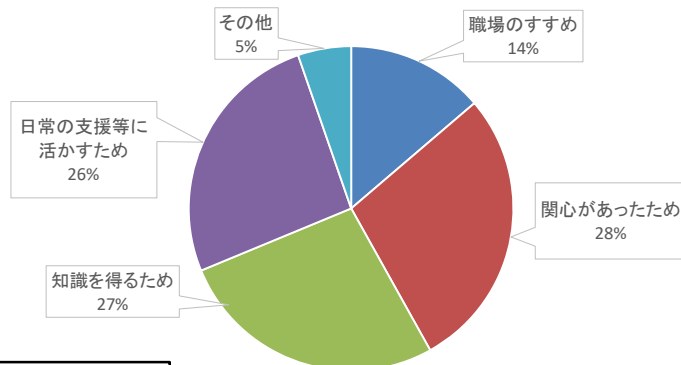
- ・コーディネーター:石井 啓(社会福祉法人嬉泉 理事長)
- ・事例発表者:西川 輝(板橋区立赤塚福祉園 副園長)  
:小熊 祐慈(おおらか学園 主任)
- ・質問者:柏木 理江(東京都発達障害者支援センターこどもTOSCA 相談員)  
鈴木 雅士(袖ヶ浦ひかりの学園 主任)
- ・日時:令和8年1月24日(土)13:00~16:00
- ・場所:ワイム貸会議室 御茶ノ水
- ・実施形態:集合形態
- ・参加人数:22名(定員:20名)

5

## 実施状況

### 参加を申し込んだ理由(複数回答有)

※令和8年1月31日までの実施終了研修  
(研修回数:9回 参加者総数:161名)



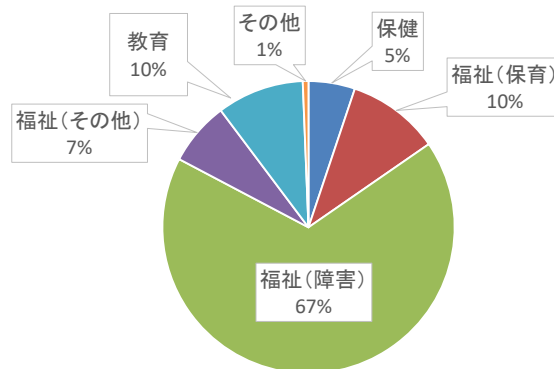
■「その他」の回答  
・紹介された  
・技術を高めるため  
・アセスメントを整理するため  
・様々な事例、意見に触れる機会

N=156/161  
\* 複数回答有

6

## 実施状況 参加者の概況(所属・分野)

※令和8年1月31日までの実施終了研修  
(研修回数:9回 参加者総数:161名)



N=156/161

7

## 実施状況 感想(事後アンケートによる)

### 【体験研修】

- ・作業内容、環境調整の方法、アプローチ方法等、実際に現場に入ることによく理解でき、自施設でも活かそうなものもあり、勉強になった
- ・職員間の連携、チーム支援の仕方について、参考になった

### 【相談研修】

- ・強度行動障害における現状と課題がよく分かった
- ・自施設としての方向性に見通しを持つことができた
- ・事例を聞いて、理想と現実の間で、自分の立場で何かできるのか、向き合っていく必要があると感じた

### 【実践発表】

- ・事例について、質疑応答によって掘り下げの中で、人とのつながりや関係性を主軸とした支援のあり方、支援者自身と利用者の変化等、最近の研修ではあまり語られないので貴重な機会だと思った

8

## 実施中および実施予定 研修内容

### ■相談研修VI「青年期の発達障害～教育から社会へ～」

- ・講師: 渡辺 慶一郎 氏  
(東京大学 相談支援研究開発センター 副センター長 精神科医師)
- ・事例提供者: 柏木 理江  
(東京都発達障害者支援センターこどもTOSCA 相談員)
- ・日時: 令和8年2月28日(土)13:00～16:00
- ・場所: ワイム貸会議室お茶の水
- ・実施形態: 集合研修
- ・定員: 20名

9

## 総括

令和7年度は、これまでの研修に加え、よりニーズが高いと思われるものや、より実践的で現場で即活用できるものを意識した研修を企画した。

その中で、「体験研修」については、結果、定員には達しなかったが、希望者は多数おり、希望日程と空き枠の調整がつかずにお断りしたケースが複数あった。このことから、次年度は日程設定を含め、企画内容を見直していきたい。

全体としては、受講者の確保が課題である。周知方法等工夫はしているが、特に令和8年1月に設定した研修については、受講希望者がなかなか伸びなかった。

そのため、次年度以降は周知方法に加え、設定時期や研修内容によってはオンラインを取り入れる等、企画を再検討していきたい。

10